



### サークルタイム

先日の運動会では、子どもたちの頑張る姿に大きな声援や拍手をいただきありがとうございました。子どもたちは、心地よい疲れとさわやかな充実感に満ちた運動会の午後を過ごしたと思います。練習の時から毎日みんな一生懸命取り組んできた、その努力を讃えます。



保護者の皆様にも、様々な面で惜しみないご協力をいただき、ありがとうございました。PTAの役員さんを始め一人一役の方の運営サポートはもちろんのこと、会場のすべての方がマナーを守ってくださり、気持ちよく進めることができました。後片付けの時も、大勢の方が手伝ってくださり、あっという間でした。短大ボランティア学生も開始前から最後までよく動いてくれました。

駐車場でも、今年度は台数が多くなることが見込まれたため、坂下の臨時駐車場の拡張を考えました。でも、広くすればするほど奥の方まで車を停めていただくことになり、ご不便をおかけしてしまいます。そこで、臨時駐車場は30台までにとどめ（それでも相当広い）、向かい側のさくら組古井様所有の空き地をお願いしたところ、快く提供してくださいました。さらに、海上保安庁第七管区保安部の方も、構内入口前の立入禁止スペースを貸して下さり大変助かりました。

そして卒園児。何と56名も参加し盛り上げてくれました。パン食い？競走で60個のあんパンを用意していたので、ぎりぎり足りました。中には、案内状が届いたのが嬉しくて、転居されていた長崎からはるばる参加しに来てくださったご家族もいらっしゃいます。心から感謝します。

多くの皆様のご協力のおかげで4年ぶりの開放的な運動会は盛会裏に終わりました。

さて、今年度から以上児のクラスではサークルタイム(以下、CT)という時間を設けています。CTとは、子どもたちが車座になり思い思いに発言する場で、近年幼児教育の現場でも注目されるようになりました。降園前に、きょうあった嬉しかったことやがんばったことを出し合ったり、ドッジボールなどの遊びの途中や最後で、上手な子からコツを教えてもらったりと、内容は様々です。

運動会の練習の際にもCTが見られていました。年長さくら組は、リレーの組別に円陣を組み、走順を何度も話し合ったり気合を入れたりしました。年中も組は、パラバルーンの練習の際に、途中での感想を互いに言った後、担任が「みんな、今度はどこをがんばろうか？」と問いかけたところ、一人の子が「きらきらの花火のところ」と発言。それを聞いた他の子が「うん、うちもそう思う」、「ぼくも」と何人かが返します。担任「どうしたらがんばれる?」、女の子「おしゃべりをしない」、数人「さんせい」、担任「みんなどう?」。みんな「そうしよう!」そして練習再開。

CTは自由な発言の場です。担任はたまに口を出す程度です。このような場を設けることにより、教師に評価を求めたり指示を仰いだりせず、友達の発言に耳を傾けて、自分の思いと照らし合わせ、同意したり補足したり、反論したりしながら自分たちでそれぞれの活動のめあてに近付いていきます。本園の教育目標「考える、決める、やってみる!」を実現する有効な時間、それがCTです。

童謡「めだかの学校」と「雀の学校」を比べると、昔と今の教育の違いが見えてくるようです。輪になっている雀は、その様子からどうもCTとは言えません。生徒と先生の区別がつかないくらい、子どもが自由に、なおかつ元気に

メダカの学校は 川のなか  
そっとのぞいて みてごらん  
そっとのぞいて みてごらん  
みんなで おゆうぎ しているよ  
メダカの学校の メダカたち  
だれが生徒か 先生か  
だれが生徒か 先生か  
みんなで げんきに あそんでる

チイチイパッパ チイパッパ  
すずめの学校の 先生は  
むちを振り振り チイパッパ  
生徒のすずめは 輪になって  
お口をそろえて チイパッパ  
まだまだいけない チイパッパ  
も一度、一緒に チイパッパ  
チイチイパッパ チイパッパ

活動するところから、子どもたちの考える力、自主性が伸びていきます。(園長 寺本 明生)